



## “Program Update”

### Flying into the USA

～モーゼスレイクへのフェリーフライトを実施～

9/26、MRJ 試験機1号機 (JA21MJ) は名古屋を発ち、飛行試験拠点である米国ワシントン州モーゼスレイクへのフェリーフライトを実施しました。機体は、新千歳空港、ロシア連邦エリゾヴォ空港、米国アンカレッジ国際空港を経由し、現地時間 9/28 (日本時間 9/29) に、Grant County International Airport へ到着。総飛行時間は、13 時間 09 分、総飛行距離は約 8,300 km でした。フェリーフライト実施に際し、関係各国の航空当局をはじめ、ご協力頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。「飛行機の調子は良い。試験をこれから加速し、前に進めていきたい」(チーフテストパイロットの安村佳之) モーゼスレイクの地は晴天率が高いことで知られるほか、拠点を置く Grant County International Airport は、滑走路の距離が長く、試験利用に際しての制約が少ないなど、高頻度での試験実施が可能です。型式証明の取得に向け、MRJ はいよいよ北米での飛行試験をスタートさせます。

Over “Moses Lake”



### 3 機目の初飛行を実施

9/25 に JA24MJ の初飛行を実施し、飛行試験プログラムに 3 機目が加わりました。



### 緊急事態対応訓練を実施

～From Moses Lake Flight Test Center～

フェリーフライト到着に先立ち、モーゼスレイクフライトテストセンターでは 9 月中旬、小型機 MU-300 を活用した緊急事態対応訓練を実施しました。訓練は Port Of Moses Lake をはじめとする関係機関および協力会社である AeroTEC 社の支援のもと、緊急事態発生時における対応手順を確認するもので、首尾よく完遂しました。訓練では MU-300 が滑走路上で動けなくなったことを想定し、すべてのメンバーが緊急事態からの回復を図る作業をこなしながら、グループ内の作業協力と、グループ間でのコミュニケーション手順について確認・実践しました。今回の訓練を経て、わたしたちは、地域の航空コミュニティの一員としての思いを新たにしています。メンバー 丸となってこれからの飛行試験を着実に進めてまいります。

“Hot Topic”

